

2004. 3月

都市みらい通信 IFUD LETTER

Institute for Future Urban Development



【目次】

- ・「第2回 土地有効活用
提案協議」選定結果 P1～3
- ・財団の活動状況 P4～6
- ・新刊本の紹介 P7
- ・平成16年度「再開発プランナー
試験」について P7
- ・新会員紹介 (NTTコムウェア) P8

《ハイライト》

- ・「第2回 土地有効活用
提案協議」選定結果
- ・「まちづくりに関する新た
な制度」講習会開催報告

§ 「第2回 土地有効活用提案競技」選定結果

当財団では、国土交通省の土地月間協賛事業の一つとして本提案競技を実施し、低・未利用地の新しい活用方策に関する提案を募集しておりましたが、2月26日に開催した審査委員会において、6作品が国土交通大臣賞をはじめとする優秀作品として選定されました。

埼玉県川越市の中心市街地に残された歴史的な建造物（蔵）を含む低・未利用地を課題地に行われた今回の提案競技では、空間利用の方法のみならず、その具体化方策や施設運営のあり方など、総合的な土地活用方策が求められましたが、登録者数は199件、有効応募数は71作品と昨年を上回る数多くの力作が寄せられました。

1. コンペ実施概要

- 主 催：(財)都市みらい推進機構
 後 援：国土交通省・日本政策投資銀行・都市基盤整備公団・地域振興整備公団・
 (財)民間都市開発推進機構・川越市・川越商工会議所
- 登録期間：平成15年10月16日～11月14日
 作品提出期間：平成16年1月16日～1月30日
 入選発表：平成16年3月12日



2. 選定結果

受賞内容 【副賞】	受賞者名	代表者	代表者の所属
特選 国土交通大臣賞 1点 【賞金50万円】	都市再生	滝川勝弘	(株)アーバン開発研究所
入選 都市みらい推進機構 会長賞 2点 【賞金20万円】	チームタスクル	藤野憲治	(株)ウェイブインターナショナル
	川越暮らし市場 研究会	野代洋仁	(株)安井建築設計事務所
審査委員特別賞 3点 【賞金10万円】	久染賢二 + 仲摩邦彦	仲摩邦彦	仲摩邦彦建築設計事務所
	千葉大学 宮脇研究室	宮脇 勝	千葉大学
	(株)地域計画連合	酒井秀治	(株)地域計画連合

3. 審査総評・優秀作品概要

○審査総評より

応募提案71作品の傾向として、現存する蔵の活用を前提に観光・集客的機能や交流型機能の導入を提案する作品、NPOやまちづくり会社の参画を通して市民参加による施設運営を提案する作品など、課題地区の立地条件や現在の社会的背景などを読み込んだ作品が多く見られた。

資金調達などの事業性や提案の総合力という点では高い完成度には達していないものの、今後の土地活用の参考となる要素を含んだ作品が数多く見られたのも特色であり、寄せられたアイデアの要素を土地有効利用の実現にどのように結び付けていくかが今後の課題とされよう。

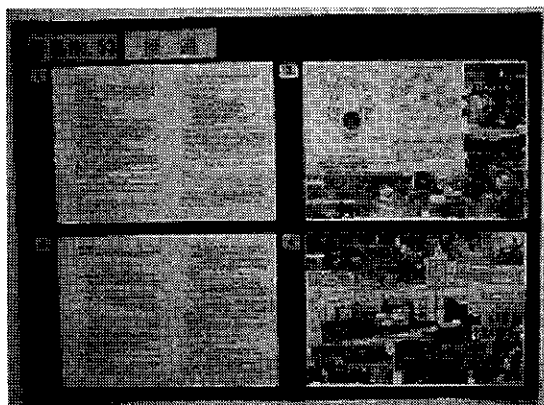
今回の提案競技について得られたさまざまな提案が、今後の新たな土地活用や都市に活力を生む新たな活動の参考として活かされるとともに、既存の枠にとらわれない新たな発想による土地の有効利用が実現されることを期待したい。

○優秀作品概要

【特選】

都市再生／代表者 滝川勝弘／(株)アーバン開発研究所

本作品は、『小江戸川越「食楽市&創作市場」』をテーマとして、蔵と外部空間をいかした地場の農産品を中心とするファーマーズマーケット等による商業・交流施設を提案したものである。食を通じたにぎわいづくりや、川越市と周辺地域の関係・農と都市の関係の再構築など、テーマ性と地区の担う役割を明確に提案していること、地域特性を読み込んだ事業化の可能性などが高く評価された。

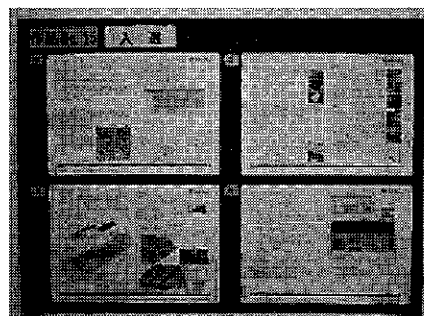




【入選】

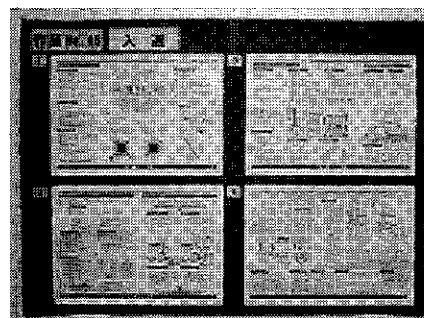
チームタスクル／代表者 藤野憲治／(株)ウェイブインターナショナル

本作品は、『とりゃんせ／川越の歴史の再創造』をテーマとし、既存の個々の蔵のテーマを明確にしつつ、デジタル技術などを駆使して地区全体をノスタルジー空間として再創造することが提案されている。歴史性を尊重しつつ、先端的な技術を投入して現代のニーズに対応する活用方策の提案が、歴史性のある建物の再活用に関する汎用性を有しているとして高く評価された。



川越暮らし市場研究会／代表者 野代洋仁／(株)安井建築設計事務所

本作品は、『川越 暮らし 市場』をテーマとし、地区の立地を活かして市民相互や市民と観光客など、多様な交流の場となる空間を市民参加型で整備・運営することによって暮らしの豊かさを創造していくことが提案されている。地区の活用を中心市街地活性化につなげる視点や、事業化のための方策と具体的な進め方、事業性などについて踏み込んだ提案が評価された。



【審査委員特別賞】

久染賢二+仲摩邦彦／代表者 仲摩邦彦／仲摩邦彦建築設計事務所

本作品は、『にぎわいの蔵～古き革袋に新しき酒を～』をテーマとして、スケルトン・インフィル・システムを活用し、時々のニーズに対応したイベントや店舗展開などをフレキシブルに行う提案である。蔵という空間をいかしつつ、施設の内容・機能を固定せずに様々な利用を可能とするシステムの提案が汎用性・拡張性を有するとして評価された。

千葉大学宮脇研究室／代表者 宮脇勝／千葉大学

本作品は、『酒蔵NPOと住み込みグループがつくる酒蔵の連鎖再生』をテーマとして、地区に住み込むグループを募り、実際に居住しつつ酒蔵を再生していく手法を示した提案である。手法のユニークさ、活動が連鎖的に拡大していく可能性、活動を段階的に進めるプログラムの具体性が実践的で現実的な方法論として高い評価を得た。

(株)地域計画連合／代表者 酒井秀治／(株)地域計画連合

本作品は、『「人」、「場所」、「出来事」マッチング事業』をテーマとし、川越ならではの「人育て、才能育て、交流づくり、環境づくり」の場と組織づくり、活動の具体的な内容を提案したものである。川越におけるまちづくり活動の実績をふまえつつ、蔵を拠点とした活動としてさらに発展させる提案となっている点が評価された。

優秀作品については、当財団のホームページでもご紹介しておりますので、どうぞご覧ください。

(<http://www.toshimirai.or.jp/>)

(担当：企画調整部 西尾)



§ 財団の活動状況

日	2月	日	3月
4	品川新拠点研究会 C-WG	1	鈴鹿土地活用調査協議会
4	品川新拠点研究会 A-WG	2	沖縄県跡地利用調査WG会議
5	*都市再生研究会B-WG #9	2	静岡県土地転策定協議会
5	*都市再生研究会D-WG 東京臨海SWG	2	品川新拠点研究会 B幹事会
5	*都市再生研究会#14幹事会	3	公民連携事業促進方策研究会
5	沖縄県跡地利用審議調査会	3	新時代土地活用調査検討会議
6	那覇市土地活用調査先進地視察	5	*都市再生研究会#3主幹事会議
9	鈴鹿土地活用調査WG会議	8	都市公団調査研究報告会
10	低・未利用地経年調査WG会議	10	*都市再生研究会A-WG #14
17	土地活用調査WG会議	17	*「まちづくりに関する新たな制度」講習会
19	品川新拠点研究会 A-WG	18	企画運営委員会
23	公民連携WG会議	19	*都市再生研究会#15幹事会
24	レンタサイクル調査WG会議	23	品川新拠点研究会 B-WG
24	品川新拠点研究会 B-WG	25	仙台「あすと長町」施設立地研究全大会
24	まちづくり交付金小冊子打合せ	23	沖縄県跡地利用調査委員会
26	第2回土地有効活用提案競技審査会	30	理事会、評議員会
26	土地活用調査アドバイザー会議		

*印のある項目については、他ページに解説があります。

【財団関係諸団体】

《インテリジェントシティ整備推進協議会》

18	近未来の有望分野についての情報交流会 第2回	12	インテリ協幹事会
23	インテリジェント・シティ推進に必要な 新施策提言研究会 第7回	23	鎌倉市深沢地域IT化まちづくり研究会 第4回
24	鎌倉市深沢地区IT化まちづくり研究会 第3回		

《地方の拠点まちづくり協議会》

9	岐阜WG コア会議（岐阜市役所）	11	連携セミナー（三団体共催） 演題：「汐留BID」 講師：江戸川区役所 土屋土木部長
		24	岐阜WG第3回研究会（岐阜市役所）

《都市地下空間活用研究会》

2	八重洲・京橋・日本橋地区分科会幹事会 (2/19も開催)	11	都市交通施設分科会 幹事会
10	都市交通施設分科会 第13回全体会	11	連携セミナー（三団体共催） 演題：「汐留BID」 講師：江戸川区役所 土屋土木部長
18	中心市街地と地下街のあり方分科会 名古屋市ヒアリング	16	八重洲・京橋・日本橋地区分科会 第4回検討会議



§ まちづくりに関する新たな制度講習会開催

今月17日(水)、国土交通省都市・地域整備局まちづくり推進課都市総合事業推進室長の松井直人氏を講師にお迎えして、1,000人弱の参加者を対象に、最終的な詰めが行われている「まちづくり交付金制度」についての講習会を、千代田区平河町の砂防会館で開催しました。

当初、500人程度の参加者を想定して準備を進めておりましたが、予想外に多数の方々から申込を頂いたため、急遽、13:00開演と15:30開演の2部構成に計画を変更しましたが、それでもなお参加申込者全員のご要望にお応えできず、一部の方には大変ご迷惑をお掛けいたしました。

参加者は、まちづくりの関係者が今最も注目している、まちづくりの新規施策に関する極めてホットな情報を、国の政策担当者から直接入手できるとあって、年度末の多忙な時期にも拘わらず、北海道から沖縄に至る全国各地から多数のご参加を頂きました。

参加者の内訳は右記の通りであり、「まちづくり交付金制度」が自治体は勿論のこと、民間企業の方々からも強い期待を持たれている事が確認できました。

この制度は、公民連携が期待されている時代にあって、極めて時宜を得た新規施策と考えております。

但し、これを実効あるものにするためには、公民が各々の特色を活かして協力して行くことが不可欠であることは言うまでもない事ですが、公民連携を支援する機関の役割も大変重要と考えております。

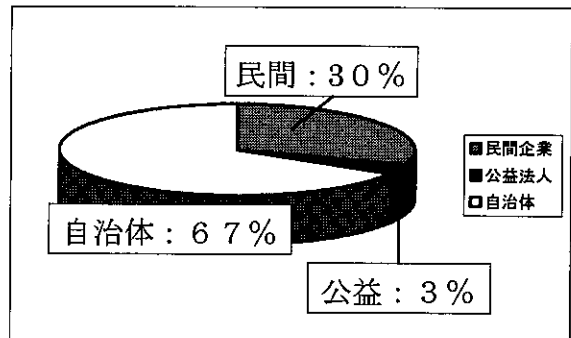
私どもの財団は、公民連携支援財団として昭和60年に設立され、その間、工場跡地や国鉄跡地を活用した大規模な都市拠点開発から中心市街地活性化・低未利用地の有効活用・事業化推進のためのコンペ実施、更には民間会員企業による提案を目的とした自主研究等の幅広い活動を重ねて関係者からシンクタンク・プロデューサー機能を有する特色ある財団として高い評価を受けております。

こうした18年間の実績と国土交通省外郭団体としての機能等をフルに発揮して、積極的に「まちづくり交付金制度」推進のお手伝いをして参りたいと考えております。どのようなことでも結構ですでお気軽にご相談頂ければ幸いです。

この度の講習会で、この制度に対する質問・ご要望に関するアンケート調査票をお配り致しましたが、既に多数のご回答を頂いております。このアンケート調査票は私どものホームページにも記載しておりますので、まだの方は、ここからダウンロードして当財団までメールしてください。

国土交通省のご協力を得て、皆様方にフィードバックさせて頂きたいと考えております。

なお、当財団のホームページアドレスは本冊子の末尾に記載してありますのでご確認ください。



■都市再生研究会特別寄稿

大阪長屋—もうひとつの「都市再生」への視点—

弘本由香里

大阪ガスエネルギー文化研究所 客員研究員

民の力の象徴としての長屋

幕末の大坂のまちを鳥瞰した風景画、五雲亭貞秀筆「大坂名所一覽」を見ると、画面一面に碁盤目状の市街地が広がり、町家の瓦屋根が碁盤の目を埋めるように規則正しく並んでいる様に圧倒される。表通りに面して、端正な表情を持つ、長屋建ての町家としての借家がずらりと並び、路地を入ると小さな裏長屋が軒を連ねる。そういうまちの構造が、生活・産業・文化の受け皿となり、近世大阪の活力を支えていたのである。

近世から近代へ、日本社会が大きな構造転換を迎えた時、東京では武家地を基盤に、官の力で近代的都市づくりが進められていったのに対し、大阪では町人地を基盤に、民の力で近代的都市づくりが模索されていった。しかも、その町人地の大半が、近世の繁栄を支えてきた長屋で構成されていたのである。



近世大坂の町人たちによって形成された質量ともに豊かな町家・長屋の歴史的系譜が、近代以降の大坂の都心から郊外に及ぶ都市住宅としての

長屋の豊かな発展につながっており、一般的に長屋に対して抱かれがちな画一的な貧しいイメージとは一線を画し、大阪における長屋の驚くべき多様性のバックボーンになっている。

こうした大阪の都市史をひもとくと、官の側・支配の側から文脈ではなく、民の側・そこに住み・暮らす主体の側から、まちづくりのシステムを組みなおしていく物語として、都市再生を捉える必然性が見えてくる。

今、大阪市内の長屋再生が話題を集めている。大阪長屋の歴史特性と再生ムーブメントを、もうひとつの都市再生という視点で見つめてみたい。

ソーシャル・キャピタルの形成へ

長屋再生の代表例として注目を集めている都心部、空堀商店街界隈長屋再生プロジェクト(からほり倶楽部)の活動の一端を紹介しながら、その意味を読み解いてみよう。

大阪城天守閣から約2km南に下ったあたり、上町筋から谷町筋をまたいで松屋町筋まで、上町台地をダイナミックに東西に貫く商店街が通称「空堀商店街」である。商店街の両側に戦

災を免れた長屋と路地のまちが一面に広がり、坂道や石段・石畳とともに、懐かしい暮らしの風景を留めている。

こうしたまちの魅力に引かれて、アーチストやデザイナーや建築士など、クリエイティブな人材が、このまちにアトリエやオフィスや住まいを構えるケースが増えている。そんな状況の中で、長屋のまちの魅力を再認識し、老朽長屋の再生・活用を目指す、からほり倶楽部が誕生した(2001年4月発足)。そこで実践されている長屋のまちの価値の発掘と継承や新旧文化の融合の手法の中に、筆者はもうひとつの都市再生への鍵を見出すことができると思っている。



ひとつは、ローコスト化をきっかけにしながら、居住者が自ら内装の一部に手をかけていく「セルフビルド」。このプロセスが介在することによって、建

物やまちとのダイレクトで豊かな応答関係・愛着が生まれ、建物やまちの持続性や価値を飛躍的に伸ばしていくことにつながっている。二つ目は、住宅だけでなく、商店やアトリエやオフィスなど、さまざまな機能が混在するまちの魅力が人々を引きつけていること。それらの機能混合が「ソーシャル・ミックス」を実現し、新たな文化を生み出す創造力の源になっている。多様な世代、多様な階層の居住者を受け止めるまちの包容力が開く可能性である。そして、三つ目に、こうした取り組みが、新たな人生やビジネスの開拓にチャレンジをする人たちを呼び寄せ、支え育てる、「インキュベーション」の場になっているという事実である。この三種の機能がまちに組み込まれることによって、ソーシャル・キャピタル(社会関係資本)、いわば地域力が形成されていく。

長屋を入り口にもうひとつの都市再生の鍵を探ることは、決して建物としての長屋を単に再生する意味に終わるものではない。長屋が構成するまちの構造が担保していた、ソーシャル・キャピタルを形成する機能こそ、再生の目的となるべきものである。建物の姿・形は変わったとしても、その機能の核心部分をまちの中に構造的に組み込んでいくことが、都市再生のこれからを開く鍵であると言い換えてもいいだろう。

自分流の表現をかなえ持続的な愛着につながる「セルフビルド」。さまざまな価値観・階層を受けとめて活力とモラルを育む「ソーシャル・ミックス」。夢を追う力・実現する力を育む「インキュベーション」。それらが、「まちとのつながり」というストーリーの中で再構築されていくこと。生活・文化・産業一体で、一定の流動性を受け止めながらソーシャル・キャピタルを育む、持続的な都市再生のモデルを創造していく必要性がはっきりと浮かび上がってくるのである。

(2004/3) ■

写真左：昭和初期、土地区画整理事業とともに建てられた郊外部の近代長屋

写真右：二軒長屋に5店舗が出店する、からほり倶楽部の長屋再生複合ショップ「憩」

財団の都市再生研究会・大阪部会では、「空堀地区」をテーマに、都市再生の新たなモデル提言に向けて調査研究を行っています。(企画調整部 岩井 博)



§ 新刊本のご紹介

機関誌「都・市・み・ら・い」発刊15周年記念事業として創刊号より連載してきた「シティプランナーの横顔」をまとめ、世界の著名な都市計画と都市計画家を系統だって編集した本邦初の珠玉の一冊を上梓！いつも座右に、温故知新にご利用下さい。

都市を つくった巨匠たち

Master Builders of City Planning シティプランナーの横顔

■ B5判・268頁
■ 定価3,500円(本体3,333円+税)
送料340円
※定価は5%税込価格です。

【本書の特色】

● 戦災復興計画から日本の戦災復興計画まで、近代都市計画の礎を築いた先駆者たちの業績や都市づくりの思想を明らかにする。

● 都市計画に興味を持つすべての人に贈る1冊。

《申込先》
(財)都市みらい推進機構

FAX 03-5976-5858

〒112-0013
東京都文京区音羽2-2-2 アベニュー音羽3階

TEL 03-5976-5860

第1章 戦後復興期の都市計画

- 1 戦後復興期の都市計画
- 2 アラバマ州バーミンガム
- 3 フランクリン・D・ローズヴェルトの都市計画
- 4 セルゲイ・チャイコフスキの都市計画
- 5 ベルギー・ヘンリク・ラッセルの都市計画
- 6 エドワード・マッソーの都市計画
- 7 ホーランド・スミス・ラッセルの都市計画
- 8 アイクス・ラッセルの都市計画
- 9 マルセル・ワグネルの都市計画
- 10 シルヴァ・スクリンバウ

第2章 首都圏の発展

- 1 三浦アヲシ
- 2 三浦アヲシ
- 3 三浦アヲシ
- 4 三浦アヲシ
- 5 三浦アヲシ
- 6 三浦アヲシ
- 7 三浦アヲシ
- 8 三浦アヲシ
- 9 三浦アヲシ
- 10 三浦アヲシ

第3章 田園都市の系譜

- 1 田園都市の系譜
- 2 田園都市の系譜
- 3 田園都市の系譜
- 4 田園都市の系譜
- 5 田園都市の系譜
- 6 田園都市の系譜
- 7 田園都市の系譜
- 8 田園都市の系譜
- 9 田園都市の系譜
- 10 田園都市の系譜

第4章 都市計画思想の展開

- 1 都市計画思想の展開
- 2 都市計画思想の展開
- 3 都市計画思想の展開
- 4 都市計画思想の展開
- 5 都市計画思想の展開
- 6 都市計画思想の展開
- 7 都市計画思想の展開
- 8 都市計画思想の展開
- 9 都市計画思想の展開
- 10 都市計画思想の展開

第5章 アメリカ大陸の都市計画

- 1 アメリカ大陸の都市計画
- 2 アメリカ大陸の都市計画
- 3 アメリカ大陸の都市計画
- 4 アメリカ大陸の都市計画
- 5 アメリカ大陸の都市計画
- 6 アメリカ大陸の都市計画
- 7 アメリカ大陸の都市計画
- 8 アメリカ大陸の都市計画
- 9 アメリカ大陸の都市計画
- 10 アメリカ大陸の都市計画

第6章 日本の都市計画

- 1 日本の都市計画
- 2 日本の都市計画
- 3 日本の都市計画
- 4 日本の都市計画
- 5 日本の都市計画
- 6 日本の都市計画
- 7 日本の都市計画
- 8 日本の都市計画
- 9 日本の都市計画
- 10 日本の都市計画

※特別斡旋価格3,200円(税・送料込み) (定価3,500円・送料340円)

§ 平成16年度「再開発プランナー試験」について

(社)再開発コーディネーター協会は、下記要領にて「再開発プランナー試験」を実施します。今年から受験資格が「20歳以上」に引き下げられ、学生も新人社会人も筆記試験を受験できるようになりました。再開発プランナーになるには今までと同等の実務経験が必要ですが、筆記試験合格後に実務経験を積み、という道も開かれました。

- ・筆記試験は、受験資格の緩和以外は、昨年までの試験と同様に行われます。
- ・受験資格：試験を受ける年の4月1日現在満20歳以上の方なら誰でも受験できます。
- ・筆記試験受験申込書の頒布及び受付
 - 期間 平成16年5月6日(木)～6月4日(金)
 - 価格 一部 1,260円(消費税含む)
 - 方法 窓口頒布(東京・大阪)
 - 郵送頒布(送料別途)
- ・受験手数料 21,000円(消費税含む)
- ・試験日・時間 平成16年8月22日(日)9:00～16:30

※1984年(昭和59年)4月1日以前に生まれた方

・筆記試験合格者の発表
平成16年10月7日(木)頃

【お問い合わせ先】
社団法人 再開発コーディネーター協会
再開発プランナー資格室
〒105-0004 東京都港区新橋6-17-20 米田ビル5階
電話 03-3435-1783 FAX 03-3432-8908



§ 新会員紹介・・・NTTコムウェア株式会社

NTTコムウェアの次世代通信ソリューション「NEXIPT」をご紹介します。

弊社では、次世代通信ソリューションを企画から運用保守までトータルでご提供させていただいております。今回は都市開発・まちづくりにおける、安心・安全をテーマとしたオフィスソリューションをご紹介します。



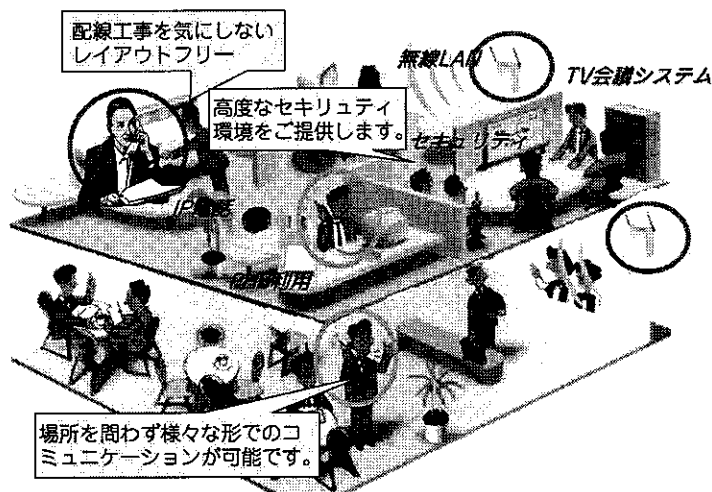
●多様化する新しいワークスタイルをサポート●

新しいワークプレイスに
求められること



ナレッジワーカーの知的
創造を促進する環境作り

最大の成果を引き出す
ワークプレイス作り



「NEXIPT」で実現できること

《安心・安全なワークプレイス》

- ・無線LANエリアからの社内イントラネットへセキュアなアクセス
- ・IP網特有の脅威（Dos攻撃やウイルス）に対する機能を盛り込んだトラフィック制御

《知的創造を生み出す

質の高いワークプレイス》

- ・場所にとらわれないコミュニケーション

《最大の成果を生み出すような

効果的レイアウト》

- ・フレキシブルなオフィスレイアウト

お問合せ先 NTTコムウェア株式会社 NEXIPT事業部 ソリューション営業部

TEL: 03-5796-3164 FAX: 03-5463-6544

(財)都市みらい推進機構

住所 東京都文京区音羽2-2-2

アベニュー音羽3階

電話 03-5976-5860

FAX 03-5976-5858

当財団は、1985年7月に公民連携支援母体として建設省

《国土交通省》により設立された都市開発支援財団です。

200弱の自治体・民間企業・公益法人に会員としてご支援頂いております。

シンクタンク機能からプロデュース機能の拡充を図ってきております。

◇都市拠点開発・都市再生支援

◇中心市街地活性化支援

◇低未利用地有効活用支援 他

ホームページもご覧下さい
<http://www.toshimirai.or.jp>